■訃報■安良田済（あたらすむ）

１００歳の頃の安良田済さん

歌誌「椰子樹」編集、「コロニア文学会」代表、「コロニア詩文学」編集などを務め、戦後長き渡りコロニア文芸界を支えてきた安良田済（あらたすむ）さんが１９日午後、養老院で老衰のために亡くなった。享年１０４。２０日に聖市ヴィラ・アウピーナ墓地で葬儀を家族で行い、火葬した。パンデミックのため初七日、四十九日法要などは行わない。

安良田さんは１９１５年１０月２６日、山口県宇部市生まれ。２９年１２月に家族移民として「さんとす丸」で渡伯。カフェランジアで７年間、農業に従事した後、ノロエステ線グァランタンで兄弟３人で雑貨商を経営し、その後に出聖して商業に従事。

１９５０年に帰化して、一子（かずこ）さんと結婚。６５年から９８年まで断続的に歌誌『椰子樹』の編集に携わる。８３年には故・武本由夫（よしお）の後継者として「コロニア文学会」代表に就任。『コロニア詩文学』誌の刊行を１０年間継続した。

２００８年、サンパウロ人文科学研究所の１００周年研究叢書の第７号『ブラジル日系コロニア文芸』下巻を執筆。１１年3月、９５歳の折、『戦時下の日本移民の受難』を出版。１５年１０月、満１００歳を迎えて祝賀会を開催。１７年1月に『日系移民第１号史・及びそれに準ずる事ごと』を刊行した。